

日本建築学会歴史的建築データベース小委員会 公開研究会（拡大委員会）

歴史的建築データベースの活用と災害調査システムの導入

日 時：2022年11月12日（土）15：00～17：00

主 催：日本建築学会歴史的建築データベース小委員会

参加費：無料

開催方法：オンライン開催（Zoom ミーティング）

申込方法：下記の Google フォームよりお申し込みください。

当日用の URL（Zoom）をお知らせします。

<https://forms.gle/RsK87K7A2P6xroHZ7>（Google フォーム）

お申し込み



データベース「日本建築学会編 歴史的建築総目録」（General List of Historic Buildings、略称 GLoHB-AIJ）のインターネット公開は 2000 年に開始されました。その後、「歴史的建築総目録データベース」に名称を改め、単なる「リスト」に留まらず、歴史的建築に係るメタデータ（画像、位置情報、報告書などデジタル化されたデータ）もデータベースに付加できるよう、絶えず整備を続けてきました。登録件数も 55,000 件を超え、現在、日本国内で最大規模の歴史的建築データベースといえます。

さらに近年は、歴史的建築の知識基盤としての役割のみならず、近年立て続けに起こる自然災害から歴史的建造物を守るための被災調査への活用、近現代建造物緊急重点調査（建築）の調査報告書のフォーマットとしての活用へと、その役割を広げてきました。

今回は、データベースの活用を更に広げていくために、データベースの基本的な仕組みと利用方法の解説、近現代建造物緊急重点調査での活用、災害調査システムの解説などを通じて、より多くの方がデータベースへ参加でき、意見交換を行う場として、公開研究会を開催いたします。

タイムスケジュール

15:00-16:00

報告 1 | 山崎幹泰（金沢工業大学）

報告 2 | 池上重康（北海道大学）

16:00-17:00

討論 | データベースの活用と災害調査システムへの要望

司会 | 玉田浩之（大手前大学）

（写真、左上から）

旧矢作家住宅

妙成寺五重塔

香川県営住宅一宮団地

瀬戸大橋記念公園マリンドーム

岡山県営住宅中庄団地

旧有備館及び庭園

出典：歴史的建築総目録データベース

